

タイムバジェット

THMS

マネージメント情報

TO

☆タイムバジェット

タイムバジェットとは、一日牛がどんな行動をしているのか時間予算したものです。

これから夏に向かうにつれ乳牛にはいろいろなストレスが掛かり易い時期とも言えます。牛がどんな行動をして牛乳を生産しているのかを知る事は大事だと思いタイムバジェットをご存知の方も多と思いますが、今回紹介させていただきます。

☆一般的に言われている行動とその時間です

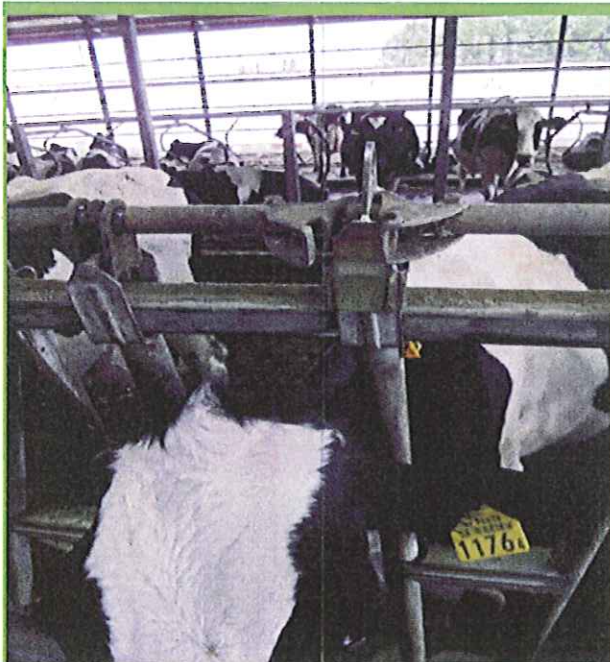
- ・採食 約 3時間 (9から14回/日)
- ・反芻 約 7時間
- ・飲水 約 30分
- ・パラ（搾乳）
約 2～3時間
- ・休息 約 10時間
- ・グルーミング 約 30分
(社会行動)

ちなみにこれは2万8千キロ牛乳を生産した牛のタイムバジェットです。

採食	6時間 15分
休息	13時間 55分
その他	3時間 50分

☆搾乳時間が一日の20%（5時間）を占めていた農場で搾乳時間を13%（3時間）に短縮した所、食べている時間が同じであっても休息時間と反芻時間が増える事で、乳量日当たり2.5～3キロ増加した例もあります。

☆繋がなくとも良い牛まで繋いでしまう連動スタンションでも、工夫一つで一頭ずつ繋ぐこともでき、他の牛の休息を増やすのに一役かうことができます。



牛を一頭ずつ繋げることができるように細工がしてあります。

もし出来ない場合はモクシで繋いでも良いかもしれませんね。

乳牛は普段のんびり寝ているだけに思われがちですが、実は一日の大半を牛乳生産に必要な時間に取り働き働いている事になります。忙しい牛達のために人工授精する際もなるべく時間調整をし、このタイムバジェットを妨害しないように心がけて、より多くの牛が休息できるよう努力しながら業務についていきたいと思ひます。